

発 行

福井県大野市天神町1番1号
大 野 市 役 所
電 話 (代) 6-1111
郵 便 番 号 9 1 2
印刷 松浦印刷所



5月の人口の動き

出生 男 28 女 25 計 53
死亡 〃 16 〃 10 〃 26
転入 〃 52 〃 56 〃 108
転出 〃 46 〃 47 〃 93
世帯数10,245(前月+8)
人 口42,534(前月+42)
男 20,505 女 22,029

「御清水」守り続けて22年



「御清水」のある泉町一区や明倫町一区では、毎週日曜日の昼下がりには鐘の音が流れてきます。これは「御清水」の掃除を知らせる鐘で、当番が「チリン、チリン、チリン」とふれて回りますと、待ち構えていたように各戸から婦人や壮年、青年、子供が集まってきます。

「ご苦労さんです」「いい天気やのう」集まった人にはこやかにあいさつを交しながら備え付けの竹ぼうきを持って「御清水」に入ります。

二十数人が上流から一斉に敷石を洗い出しますと、さすがの清流も一時はかっ色に濁ります。「一週間たつと水あかがたまるもんやのう」「そうやって。それで掃除はどうでもせんなんのやあ」なごやかな会話のうちに掃除は約20分で終わります。「御清水」は昔から地域の人々に野菜や衣類の洗い場として親しまれてきていますが、洗たく機や家庭用ポンプが普及した今日でも、主婦の心のオアシスとして談笑がたえません。

泉町一区長の中出繁三郎さんは「コンコンとわくゝ御清水、を地域の人みんなで22年間も守り続けていることは、大野の良さである、人と自然が調和した姿そのものでしょう。大野を訪れる観光客の中にも、このゝ御清水、を訪れる人が増えてきました。清掃は今後もみんなで行っていききたい」と語っています。

大野のよさ

ここに

地下水の危機は3年後に くみ上げ規制が必要

市は地下水調査を昭和44年から本格的に行ってきましたが、この程そのデータを基に地下水の状態が一目で理解出来る「大野市内地下水位下降変化動向」の調査をまとめました。

これによりますと、大野市内全体の地下水位（静水位）の変化は第1表のとおりで、ことしは約9%になっています。

これが昭和40年には5%50%だったのですから10年間に約2倍に下がったことになります。

点線は平均動水位差（地下水の増減状態を示す値）を表わしていますので、静

水位と動水位差が年々大きくなっていることは、地下水の需要と供給が不安定になっていることを示しています。

第2表は地下水の1日の需要量を表わしたもので冬季以外は昭和40年に5万870^{リットル}、ことしは9万8,830^{リットル}ですから10年で約2倍の使用量になっています。

ことしは降雪季以外の揚水量がちょうど安全揚水量の10万^{リットル}で、このままの状態で行きますと昭和52年には限界揚水量の12万^{リットル}に達し、四季を通して井戸枯れが続出する状態になってしまいます。一方降雪季の揚水量はことしは融雪用水だ

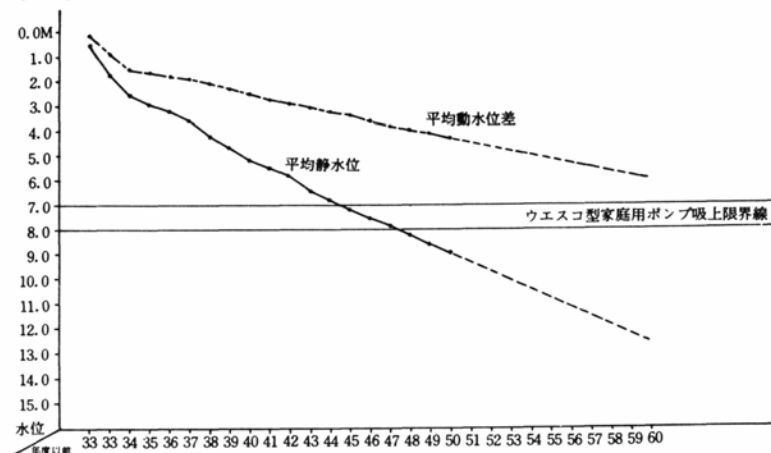
けで6万1,000^{リットル}が使われ総揚水量が16万^{リットル}になったため、775戸の井戸枯れ家庭を出すパニック状態になりました。

この傾向は年とともにますますひどくなっていきますので、早くも来年の冬が心配です。毎年繰り返す冬季の井戸枯れそれに2・3年後に迫った危険な状態を根本的に解決するには、上水道建設より外にありません。

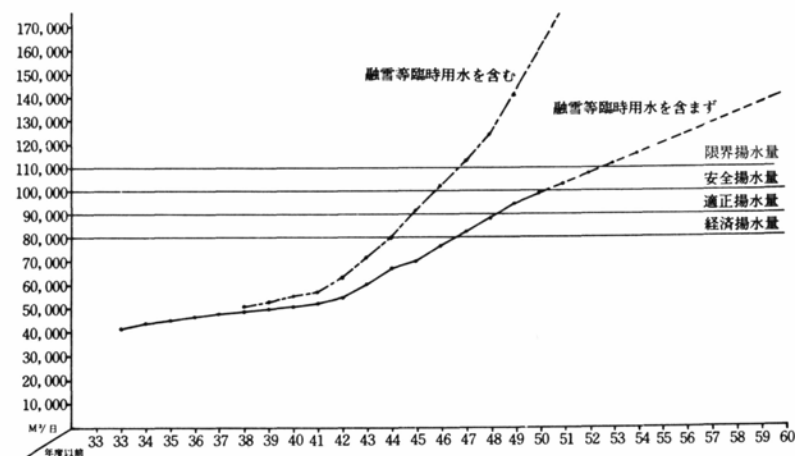
また地下水の需要と供給のバランスをとるためには四季をとおして大幅なくみ上げをしないよう、融雪や工業用水を規制しなければならない時期を迎えました。青森市では市条例で「何人も指定地域内において地下水を消雪の用に供してはならない」と定めて地下水の消雪利用を禁止し、市民全体の生活を守るため個人の利益を強く制限しています。

市はこの資料によって各種団体に説明会を開き、地下水の状態を市民のみなさんが正しく認識され、まず「節水」に心掛けられるよう強く訴えていきます。

第1表 大野市内地下水位年別下降動向（平均値）



第2表 大野市内地下水年別需要増加状況



二 輪 車

乗る人はヘルメットを

守らないと交通違反1点

7月1日から、ヘルメットをかぶらないで自動二輪車を運転したり、ヘルメットをかぶらない人を乗せてはならないことになりました。もし守らないと交通違反点数が1点つきます。

福井県下の交通事故による死者は6月20日現在で45人ですが、その11%の人は二輪車によるもので、ヘルメットをかぶっていない者がほとんどです。

自分の生命を守るため、ヘルメットは次のとおり正しくかぶって下さい。

- 頭に合ったものをかぶる
- あみだや目深にかぶらない
- あごひもはしっかり締める
- J I S マークのついたものをかぶる

6月定例市議会

一 般 会 計

1億 5,816万円を追加

第154回定例市議会は、6月13日から20日まで開かれ「一般会計補正予算案」「大野市史編さん委員会設置条例案」などそれぞれ原案どおり可決・承認されました。

中挟中野大橋線を舗装

一般会計歳入・歳出に、それぞれ1億5,816万 8,000円を追加し、予算総額は36億 6,987万 9,000円になりました。
財源は国・県補助金 3,621万円、市債

960万円、財政調整積立金 1,000万円、繰越金 9,791万円などを当て、収支の均衡を図りました。

経済界の不況の影響を受け、今後の確実な財源の見とおしが立て難い状況にありますので、極度の緊縮予算を余儀なくされました。

歳出予算の主なものは次のとおりです
——総務 ▽土地開発基金積立 4,430万円。▽国勢調査費 451万円。▽道路防護さく設置費 110万円。

——衛生 ▽廃棄物処理場用ドーザショベル購入費 350万円。▽し尿処理場浄化そう清掃費 236万円。

——農林業 ▽林地細が谷線(下笹又地係)の橋の架け替え 240万円。▽宝慶寺地域の森林総合利用診断の委託料 117万円。

——商工 ▽円山公園(六呂師)の公衆便所新設 500万円。▽森山スキー場駐車場整備補助 116万円。

——土木 ▽土布子栗原中央土打線改良に 900万円。▽菖蒲池中保新在家線物件移転補償 315万円。▽都市計画街路三番

ゴミ包装これではダメ

水がポタポタ・不燃物ゴロゴロ



ゴミの中味を調べる市職員

家庭のゴミをステーションへ出されるときは
①水切りをよくして下さい②ビン類など危険物

- ③ ポリ類(乳酸菌飲料水容器・カップヌードル容器・食品容器など57個) 0.5%²
- ④ 紙類 1%²
- ⑤ 残菜類 22.5%²

以上のように、いろいろな物が混ざっています。

一番分量の多い残菜類は、持ち上げますと水がポタポタと落ちますし、ビン類やカン類などの不燃物はどの袋にも6〜7個入っており、中には割れた1升ビンが袋を突き破った状態になっていました

またゴミの中で最も危険なスプレーは全体で3個出てきましたが、どれも穴が開いてありません。

スプレーは炉に入りますと爆発して炉を破損させるばかりでなく、作業員にけがをさせます。

作業員の安全を守り、仕事がしやすいように、また炉をいためないためにも、ゴミ包装3つの実践事項、を必ず実行して下さい。

不燃物は別に包装して下さい③ヘアースプレーには必ず穴を開けて下さい。

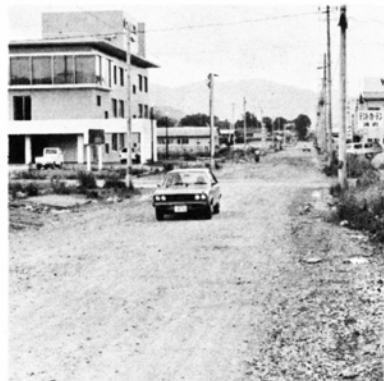
6月9日市保険衛生課はビニール袋10個(30%²)を抜き出して中味を調べました。その結果は次のとおりです。

- ① ビン類(酒ビン・化粧ビン・飲料水のビンなど21本) 4%²
- ② カン類(スプレー・カン詰・ジュースカンなど34個) 2%²

今月の納税

保険税1期分・固定資産税2期分

31日までに納めて下さい。



国道157・158を結ぶ中挟中野大橋線

線中野地係用地買収・物件移転補償1,200万円。▽寺前公園整備 562万円。▽中野下水路に 1,000万円追加。

——教育 ▽有終西小学校放送備品 300万円。▽重要文化財橋本家防災工事 740万円。▽市史編さんに45万円追加。

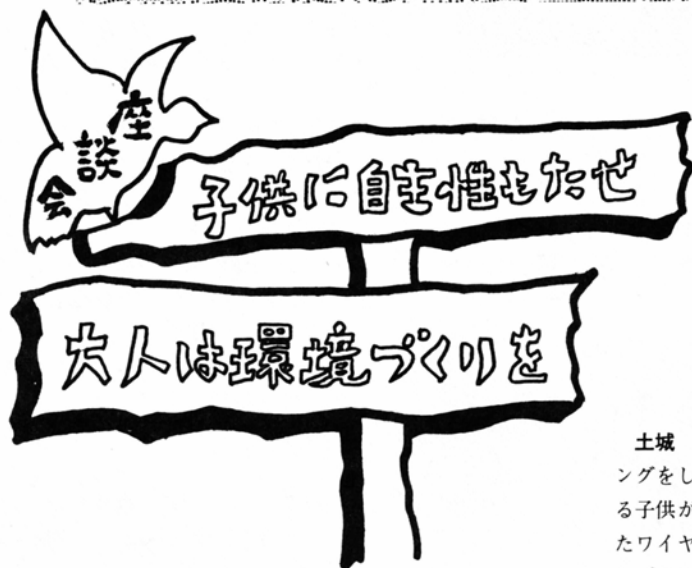
特別会計

北部土地区画整理事業 ▽市道中挟中野大橋線・駅東線の舗装、築造に 6,656万円。

国民健康保険事業 ▽助産給付金 342万円。

簡易水道事業 ▽御領水道 606万円。

夏は少年団体活動の好機



人工遊具に慣らされている

司会 もうすぐ子供にとっては楽しい夏休みですね。野外で大いに心身の鍛錬をしてほしいのですが、それにはどうすればよいか、ご出席の方々にお伺いしたいと思います。そこでまず、今の子供の特徴などからお話を始めていただきますでしょうか。

佐藤 今も昔も子供は冒険心があり、探究心がおう盛なことは変わらないと思うのですが、現在の子供は「あれは危ない」、「これは禁止」と制限が多く加えられており「社会から圧迫された子供たち」ということを強く感じます。

高橋 物とか金銭が判断の尺度になっていることは大人も子供も同じですね。それに心のゆとりに欠けている。情操を豊かにする機会が少ないのではないのでしょうか。

来たのに、なぜ自然にあるもので遊べないのかと疑問を感じました。与えられた遊び、人工的な遊具に慣らされているからでしょうか。

東 東北地方のカブト虫を養殖している所へ、都会の親子が見学に出かけました。途中で一匹のカブト虫が道ばたに死んでいるのを子供が見つけて「お母さん

このカブト虫は電池が切れたんじゃないの」と言ったそうです。笑話のようですが、反面空恐ろしい感じがします。大野市ではまだこんな極端なことはありませんが……。

司会 現代っ子は自然の中での遊びを

土城 昨年ハイキングをしたとき、ある子供が持っていたワイヤレスマイクやバドミントンにすごく人気が集まりました。せっかく山に



知らないという話もいただきましたが、野外に出て遊んだり訓練すること自体は好きなのでしょう。

佐藤 キャンプは喜ぶますね。場所・時間の制限から開放されて、子供同志が

生活することは大きな魅力になっています。大人がいちいち指導しなくても、大きい子供が小さい子供に上手にいろいろなことを教えています。「することにより学ぶ」これが少年団体活動の良いところでしょう。

高橋 自然に親しむ行事というと、すぐにバスで出かけることを考えますが、これは改めなければなりません。私の町内の子供会では亀山や砂山へよく行くの



ですが、そこでは素足になって相撲をとったり、ゲームをしたりします。これはコンクリートの生活からの解放で、自然に親しむ第一歩だと思います。

東 ある面からみれば、現代の子供は遊びやすい環境にあるとも言えます。金を出せば何んでも手に入る、壊れれば取り替えられるのですから。しかし、これでは発見する喜びや苦勞して創作する喜びがありません。この喜びが年齢・性別を問わず味わえるのは自然に親しむ活動でしょう。

土城 ハイキングに行ったとき子供3人をわざとヤブの中に入れて方角がわからないようにしたのですが、しばらくしたら子供たちが協力して出て来て「高い山って役に立つんだなあ」とにこにこしていました。これは自然の中で新しい発見と体験をした一例ですが、自然は子供にとって無限の魅力だと思います。

出席者

ボーイスカウト大野第1団隊長	佐藤と四郎さん
大野地区子供会育成会連絡協議会副会長	高橋 諭さん
上庄スポーツ少年団 指導員	土城 峰吉さん
県立奥越青少年の森 指導課長	東 信行さん
司会 市教育委員会 社会教育主事	羽生 悦夫

自然の中で体を鍛えよう



奥越青少年の森でキャンプを楽しむ子供たち

近くにメダカもいない

司会 自然に親しむすばらしさはよくわかりました。では大野の自然はどうなっているでしょう。

高橋 私は子供のころ、赤根川の柳株に手を入れて魚をつかまえるのが何とも言えない魅力でした。しかし、今は河川改修されてネコ柳の株はなく、きれいな石やブロック積になりました。改修は大切なことでやらなければなりません。でも一方では、赤根川が子供に好かれる川でなくなった事実も見逃せません。

佐藤 学校の教科の中でメダカの観察があるので教材にするためよくすくに行くのですが、昨年いた所にことはもういないことが多いですね。



土城 僕の子供のころは、家の前の用水で魚をつかまえました。しかし、今は土地基盤整備が行われて水路がみんなU字溝になりましたので、自然が遠くなっているのをひしひしと感じています。

中学生をリーダーに

司会 私たちの身近にまだまだ自然があると思っていましたが、2、3の例を

拾ってみてもどんどん遠のいていることがわかります。このためにも、夏ぐらいは子供が団体活動で自然に親しむ機会を多くもつようにしたいですね。では現在少年団体活動の上で大きな問題は何でしょうか。

高橋 子供会活動には中学生の参加がむずかしいことです。どうしても小学生と一体にならないところが悩みです。

佐藤 ボーイスカウトはその悩みがありません。進級制度、技能賞など身近な目当てがあることと、活動が班中心になっていて、班長には中学生がならなければなりませんので、班員を掌握する義務があります。

東 ボーイスカウトは「保護の中の放任」をうまく実行されていますね。地域の子供会の中には、大人が一生懸命になって子供がそれについていく形が多いのではないのでしょうか。何万円もの金を使って海水浴にだけ連れて行き、会活動をしたと考えるのは大人の気休めですよ。

土城 子供会でもスポーツ少年団でも子供をお客さんに行っていることが多いと思います。これは反省しなければなりません。

高橋 ボーイスカウトの組織や指導のあり方は、子供会も大いに参考になります。特に中学生をリーダーにした班活動は、今後子供会にも取り入れていきたいですね。

司会 ではこの夏はどのような活動を計画されていますか。

土城 上庄スポーツ少年団では、スポーツ少年大会、キャンプ、ソフト大会などです。

高橋 泉町三区子供会では親子ラジオ体操、社会奉仕活動、夕涼み大会などです。

佐藤 ボーイスカウトはトレーニングキャンプ、福井キャンポリー、カブ招待キャンプ、夜間ハイクを計画しています

東 奥越青少年の森では「利用の手引と学習資料」を作り、キャンプや自然観察などに利用していただくことにしました。また、レクリエーションキャンプ場では家族ぐるみのキャンプに力を入れていますので、この夏には大いに利用いただきたいと思います。

司会 どうも貴重なご意見ありがとうございました。この夏は子供の自然に親しむ活動が各地で活発に行われることを期待しながら、この座談会を閉じさせていただきます。



——市民の活動に備えて——

キャンプ用品を貸出し

市体育課ではテント15張り、ハンゴウ40個、食器80人分を用意して、キャンプ用品の無料貸出しをしています。

ご希望の方は、計画書をつけて早めに申し込んで下さい。

なお、キャンプ・ハイキングなど自然に親しむ行事についても相談に応じていますので、ご利用下さい。また県立奥越青少年の森のレクリエーションキャンプ場、トレーニングキャンプ場では日によってまだ余裕があります。利用ご希望の方は電話（7-1321）でお尋ね下さい。

駅東第二土地 区画整理事業

有終東小敷地は清滝川沿いに

40%完成、家七十戸建つ

線南の中挟・東中地係で組合施工によって進められており、現在その40%が出来上がり、早くも約70戸の人家が建ちました。

面積は34.2ヘクタール、総事業費は当初計画で4億3,600万円で、昭和52年度



幹線道路七間線の舗装工事

駅東第二土地区画整理事業は昭和49年から国道157号線東、県道南六呂師大野

に完成する計画です。

この事業で建設される道路は幹線道路としては都市計画街路七間線430mと区域内の中央を南北に走る12m道路725mで、それに支線が十数本縦横に延長7,178m入ることになっています。

七間線はことし中に清滝川西側まで完成する予定で、将来は県がさらに延長工事を行い、清滝川に橋を架け中保を経て富田大橋詰めで県道南六呂師大野線に接続させる計画です。

この区域の公共施設としては、消防署

を清滝川沿い七間線の南側3,963平方mの敷地に移転する計画ですし、その北側には市農業協同組合が4,018平方mの地に農業センターを建設、また消防署の南側には有終東小学校(仮称)を2万1,115平方mに建設する計画です。

市街地は年々膨張して有終西・南小学校の児童数は適正規模をはるかに上回っているため、有終東小学校を新設する計画をしています。

この外に公園を4か所(1万295平方m)設け、住居地域にふさわしい市街地造りを進めています。

スマイル

「ヘアースプレー」

あれはアブナイですよ

市民殿 ——— 腹々時計

広域基幹林道法恩寺線

南六呂師で建設始まる

林業振興と森林公園のルートに

広域基幹林道法恩寺線の建設工事が南六呂師で始まります。

この道路は南六呂師区の公民館下から唐谷川沿いに上がり、法恩寺山の中腹950～960mを縫って勝山市村岡町暮見に通ずる全長30.8kmで、幅員5m、総事業費は15億余万円です。

勝山地係ではすでに昭和47年から工事が始まっており、現在までに2,937m建設されました。

大野地係はことしが初年度で、両市分合わせて約900mが7,000万円で行われます。

受益面積は3,448ヘクタールと他の林道に比べますと並外れに大きく、その上3分の2は未開林であるため、完成しますと大野・勝山両市の林業振興に大きな役割を果たします。

また、30kmにおよぶ道は白山国立公園の一部や見晴しのよい800～900mのりょう線を通りますので、将来は「奥越森林公園」の重要なルートにもなります。



②6 菖蒲池区

仕ぐさ踊り

○そろうた そろ
うた 踊り子がそ
ろうた 二番すぐ
りの 麻のように
○桑の中から 小
唄がもれる 小唄
ききたや

顔みたや

毎年お盆がくると菖蒲池区では、神社の庭で老若男女が輪に輪を作って、夜のふけるのも忘れて踊ります

この歌詞のごとく、この踊りは一種の作業歌です。労働に疲れた身体を互いにいたわり合い慰め合った昔の人々の優しさが作業歌となり、祖先の精霊を迎えて供養する盆踊りともなったの



です。この踊りは一説には藩政時代の御前踊りとも伝えられています。

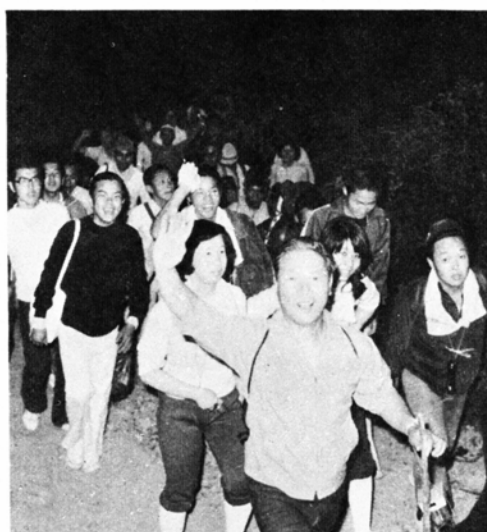
菖蒲池区では幼・小・中・高校生の皆さんもこの踊りの練習に励み祖

先の残した文化遺産を継承しています
昭和46年2月25日市無形文化財に指定されました。



薬草研究会「オミナエシは婦人病に効きます」

6月10日奥越青少年の森で薬草研究会が開かれました。参加したのは奥越婦人グループの130人で、講師の福井市郷土博物館長小林貞七さんから「オミナエシは婦人病に効く」などの現地指導を受け、熱心にメモを取っていました。



飯降山登山 300人が参加

6月4日飯降山への市民夜間登山が行われました。この行事は明治時代から行われ、ことしも老若男女約300人が参加、元気に登頂しました。

0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
**まちの
アルバム**
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0



市民マラソン 151人が完走

第11回大野市民マラソンは6月15日女性11人を混えた151人が参加して行われました。好天に恵まれ沿道には多くの市民が声援、それにこたえて全員が完走しました。



施設めぐり「すごく大きな工事だなあ」

ことしも施設めぐりを始めました。「大野市も変ったもんや」参加者は発展する市の姿に触れて、市政への理解と関心をより深めました
(真名川ダム工事現場で)



駅前に松と高野マキを植樹
大野市の表玄関である国鉄越前大野駅の前に、この程大きな松と高野マキを植えました。
ある市民は「庭が一段と立派になり、大野市を訪れる人にもよい印象を与える」と語っていました。

お知らせ

◆……家庭奉仕員の訪問希望者へ

4月から老人家庭奉仕員を1人増員して3人委嘱してあります。

寝たきりのご老人があつて、炊事・洗たく・掃除・身の回りの世話など看護にこと欠くご家庭には、奉仕員の家庭訪問制度が利用できます。週に2回以上訪問していろいろお話をしますので、希望される方は民生委員さんに申し出て下さい。

◆……眼科更生相談は8日

眼科更生相談が7月8日(火)午後2時から3時まで市役所大会議室で行われます。県立病院の医師が相談に当たりますので、日ごろお悩みの方はお出かけ下さい。相談は無料です。

なお、当日補聴器の修理も併せて行いますのでご利用下さい。部品交換の場合は実費が必要です。

◆……交通安全の作文に応募下さい

「交通安全」作文コンクールが次のように実施されます。奮って応募下さい。
(テーマ) 交通部門①交通事故をなくすために②交通遺児を救おう 環境部門①わがまちに土と心を②美しい国土を守ろう。

(応募区分) 第1部小学生 第2部中学生 第3部高校・大学生 第4部交通遺児 第5部ドライバー 第6部一般

(原稿枚数) 第1.2部は400字詰原稿用紙

3枚以内、その他は5枚以内とし、別の紙にテーマ・応募区分・住所・氏名・年齢・性別・学校名・学年・職業を書いて下さい。

(応募作品) 1人1部1編

(締め切り) 7月31日まで

(送り先) 東京都千代田区永田町1-11 平河ビル内(財)交通遺児育英会

(表彰) 内閣総理大臣賞その他

◆……親子県政バス教室は23日

県政バス教室が次のように行われます。ご希望の方は、7月16日(水)までに県広報課県民相談室(福井市大手3丁目17-1)へ住所・氏名・年齢・連絡方法を往復はがきを書いて申し込んで下さい。

(期 日) 7月23日(水)

(集 合) 国鉄越前大野駅午前8時20分

(対象・人数) 親子(小・中学生) 60人

(コース) 越前大野駅→朝倉遺跡→子供の国→福井臨海→雄島→越前大野駅午後5時30分着

◆……危険水域や防水警報に注意して

釣りや川遊びのシーズンになりました。九頭竜川や真名川はダムや発電所が多いため、天気が悪くても放水による増水があります。サイレンや広報車で警報が出ましたら、早く川から上がって下さい。

サイレンは1分間吹き鳴らしを3回行います。

また北電大野電力所では次の場所を危険水域と定めています。立ち入らないようにして下さい。

(1)西勝原第一発電所から西勝原第二発電所ダムの区間

(2)富田ダムの上・下流

昭和50年国勢調査
10月1日実施

(3)壁倉サイフォン余水吐出口

(4)壁倉発電所水そう余水吐出口

(5)壁倉発電所放水口下流 1,000m

(6)富田・壁倉発電所間きよ内

(7)五条方発電所余水吐出口

(8)西勝原第一発電所水そう余水吐出口

◆……有終校創立百年記念作文を募集

ことしの10月で有終校創立 100年を迎えます。そこで有終校創立 100年祭実行委員会では次により記念作文を募集しています。奮って応募下さい。

(テーマ) 有終校に関すること

(応募資格) 有終校の卒業生・在学生・在学生の父兄

(原稿枚数) 400字詰原稿用紙 5枚以内(締め切り) 8月31日まで

(送り先) 大野市明倫町3-37

有終西小学校内、有終校創立 100年祭実行委員会行事部

◆……市民総合体育大会に参加を

第18回大野市民総合体育大会が次のとおり行われます。

参加・声援下さい。

7月6日(日) 午前8時30分からソフトボール(開成中) バレーボール(陽明中) 卓球(有終西小) 相撲(駅東公園内市営相撲場)

7月13日(日) 午前9時から陸上競技(開成中グラウンド)

を追究る夏は盛りとなる。

D 生

山腹に雲が低くはいそぼ降る雨にアジサイがしとどぬれる。その雲がやがてうすれ、山々が次第に全容を現わし始める。薄日がさし青空が広がる。どこから来るのかイカルの群れが桜の実をついばみにやって来て、上手なフリユートを聞かせてくれる。そばではダンディなツバメが軽い身のこなしで舞う。柴陽花や溜めてはこぼす雨の音(蒼虻) ▼

降ったり晴れたりの日が続くうち、いつの間にか雨が少なくなっていく。ある日遠くのどこかで雷が鳴ったりして梅雨明けが知らされる。そうなるまでグツと暑さも増し、積乱雲がのさばる。梅雨明けの雲より白きシャツを着る(小坂洵水花) ▼

一日の勤めを終えてぐったりして帰る。ひとふろ浴びさつぱりした気分が卓に向くと、びつしより汗をかいたビールがのつかっている。それはさわやかな思いやりでもある。グウーと一気にグラスをあおる。夏ならではの味であらう。食事を終え縁側の藤いすにもたれて懐に風を入れる。藤椅子に暮れゆく高嶺みている(及川貞) ▼

七月下旬から夏休みに入る。プールサイドは一段とにぎやかになり、浜辺にはビーチパラソルのお花畑がひろがる。しかし必ずと言ってよいほど水難事故がおきる。明が一転して暗にならないよう十分に気をつけ、夏の海を楽しむものである。雲を背に立つ母の辺に泳ぎつきぬ(中村草田男) ▼

そして全国から選抜された高校健児が母校の、郷土の期待を担って甲子園に白球を追うころ夏は盛りとなる。



山腹に雲が低くはいそぼ降る雨にアジサイがしとどぬれる。その雲がやがてうすれ、山々が次第に全容を現わし始める。薄日がさし青空が広がる。どこから来るのかイカルの群れが桜の実をついばみにやって来て、上手なフリユートを聞かせてくれる。そばではダンディなツバメが軽い身のこなしで舞う。柴陽花や溜めてはこぼす雨の音(蒼虻) ▼